

環境と新東

2007

Environmental and Social Report



企業は、事業を通じて社会の発展に寄与すると同時に、社会の構成員としてその活動基盤である地球環境を守り、「持続可能な社会の構築」を実現させていかなければなりません。CSRに取り組む姿勢に対し、社会の期待レベルが年々強くなってきており、法令遵守などコンプライアンスを徹底することはもちろん、環境対応や、社会貢献などの実行責任が問われるようになりました。それに呼応して、自社の取組みを正しく理解していただくよう対外発信するとともに、ステークホルダーや外部有識者とのコミュニケーションの充実がより求められるようになってきています。

連結経営と呼ばれて久しい中、わたくしたち新東グループでは、グローバルでのコミュニケーションを重視しながら、「企業の社会的責任を果たすこと」がものづくりの前提であるという認識を常に持ち、且つ、このことが人を成長させる原動力であり、感動する喜びや感激を皆様と一緒に作り上げることが企業の飛躍、発展に繋がるという『感動の共創』を地道に愚直に実行してまいります。

環境を事業の柱の1つに位置づける当社は、CSRを根底に置いた環境・安全・品質といった観点でのものづくりを認識して、皆様と共に取り組んでまいり所存です。

本報告書をご高覧いただき、新東グループの姿勢と活動をご理解いただくとともに、今後の活動の参考とさせていただくためにご意見を賜れば幸いに存じます。

2007年6月



新東工業株式会社
取締役社長

永井 淳

- ◆ 取組分野一覧
- コンプライアンス / ・コーポレートガバナンス ・輸出管理規制への対応
 - 環境 / ・環境適応商品 ・環境マネジメント認証取得と運営について ・地球温暖化対策 ・グリーン調達推進
 - 安全 / ・安全な商品とサービスの提供 ・海外拠点を含めた安全意識の啓蒙 ・防災対策 ・自動体外式除細動器を設置
 - 社会 / ・産学官とのかかわり ・業界とのかかわり ・地域住民とのかかわり

経営理念

Heart

(Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology)

信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を

使命 ものづくりの新たな価値を創造し、世界のお客様と「Heart」の実感と喜びを分かちあう

長期ビジョン 1. ものづくりの誇りと自信を共有するグローバル企業集団
2. 生きがい、働きがいを共有する人間集団

行動規範 1. われわれは、つねに堅実にして進取的な態度で事にあたろう
2. われわれは、つねに相互の信頼を深め果敢実行を旨としよう
3. われわれは、つねに至誠をもって社会に奉仕しよう



コンプライアンス

コーポレートガバナンス

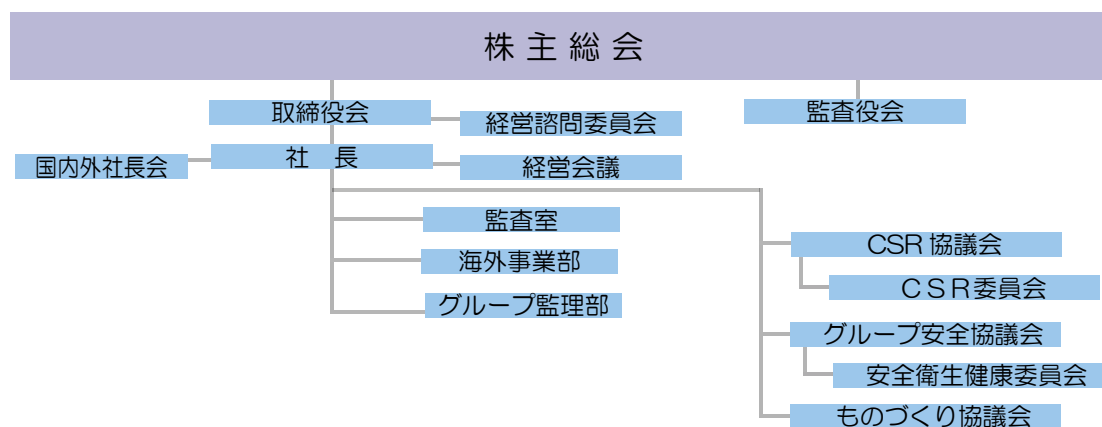
当社では、企業経営の透明化および財務諸表の信頼性確保などを通じてステークホルダーとの良好な関係を構築してきました。

企業環境の変化に伴いリスクも多様化していることから、グループ全社の社長を束ねての「社長会」を国内と海外のそれぞれで運営しています。その中で、CSR や環境・安全・品質等の基本方針の整備と方針徹底をはかっています。

輸出管理規制への対応

大量破壊兵器の拡散やテロ等が懸念される世界情勢のなか、製品や技術の輸出について一層の管理強化が求められています。当社はキャッチ・オール規制の施行をうけ、社内ルールを確立しています。今後はグループ全体で管理体制の強化を図るため、必要な知識を習得するための勉強会を開催して、不正輸出防止のための周知徹底に取り組んでいきます。

コーポレートガバナンス体制





環境

お客様の環境改善へのご提案

■ 環境適応商品



水平割抜棒造型機「FCMX」

水平割抜棒造型機「FCMX」は、平成 18 年度優秀省エネルギー機器表彰において「日本機械工業連合会会長賞」を受賞しました。

本機は ACE シリーズに引き続き、造型の鍵をにぎる鑄型砂充填方式に、パターンの細部にまで砂を均一に投入し、均一な強度で高精度な鑄型が作れる「エアレーション方式」を採用しています。使用する圧縮空気使用量を当社従来機比 70%、消費電力は 20%削減。先進の造型技術を組み合わせることで、鑄物寸法精度も向上でき、次工程での機械加工費も低減することで、消費エネルギーとランニングコストを大幅に削減しています。



年間 CO₂ 換算 従来機比 62t 削減

従来機	191 t/年	(圧縮空気 85 t/年 + 砂 106 t/年)
FCMX	129 t/年	(圧縮空気 25 t/年 + 砂 104 t/年)

■ 環境マネジメント認証取得と運営について

環境保全への取り組みをより強固にするために、また透明性を確保し信頼性を高めるために、環境マネジメントシステムの認証取得をグループトータルで推進しています。

国内の製造拠点におきましては、既に ISO14001 の認証取得をすべて終了していますが、2006 年は販売グループ子会社 2 社において、環境省が推奨する EA21 (エコアクション 21) を新たに認証取得しました。

引き続き、ISO14001・EA21 を活動の基盤として、「環境にやさしいものづくり」、「法規制への対応」、「地域社会への貢献」を重点テーマに、種々の取り組みを推進していきます。



エコアクション21

自社の取り組み 限りある資源を無駄にしない生産工程の構築に向けて

■ 地球温暖化対策

地球温暖化問題に対処するため、我が国は「2012年までの間に1990年レベルから6%温室効果ガスを削減」する法的義務が「京都議定書」の批准により課せられています。

新東グループは、2006年度に各製造拠点においてエネルギー診断を受診、その結果を踏まえて右記のCO₂削減計画を再策定しました。今後も本目標の達成に向けて、各施策を実行していきます。



CO₂削減計画概要

- 対象事業所 新東工業(株)、新東プレーター(株)、(株)メイキコウの各製造拠点
- 目標削減量 2005年度実績の6%
- 活動期間 2006～2012年度

取り組み事例

発電装置を用いて、発生する電気と熱を有効に利用するコージェネレーションシステムならびに太陽光発電システムを導入しています。



豊川製作所内3号館の屋上庭園は、開放的な憩いの空間と空調エネルギーの省エネ効果を両立しています。



工場の照明を定格電力が低い蛍光灯へ転換すると同時に、照度を確保するため天窓を変えました。また、エネルギー診断結果に基づき、コンプレッサー設定圧力を適正値内で低下させ、使用電力を低減させました。



■ グリーン調達の推進

新東グループ商品の環境保全度を向上するため、調達品における環境負荷物質の削減に取り組んでいます。その一環として、購入品調達先と連携し当社グループ設備のノンアスベスト化を完了しました。

また、多くの塗料に含まれる鉛の削減にも取り組んでいます。塗装作業基準書を作成し無鉛化塗料を使用することとしています。引き続き、メッキ・ハンダ材料での環境負荷物質の削減に努めます。



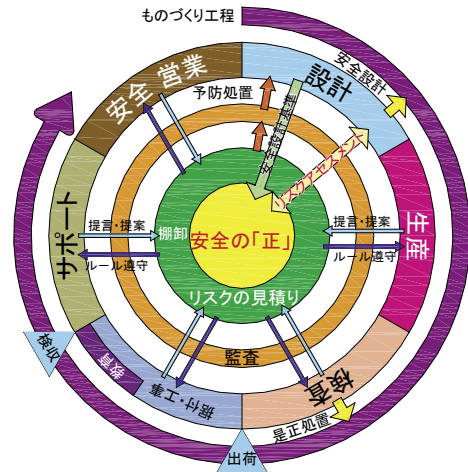
安全

お客様の安全へのご提案

■ 安全な商品とサービスの提供

企業としての社会的責任という観点から安全に関する様々な施策を進めています。

昨年度よりお客様に設備を安全にご使用いただくためにタッチパネル操作盤への安全確認ソフトの導入、設備の改造箇所を把握し顕在化させるための改造ルール確立、設備据付後の取扱説明会の実施など、経営トップ主導のもと、最重要課題に位置づけ推進しています。これらお客様への啓蒙活動は、設備メーカーとして重要な責務と考えています。



(会社全体での安全への取組み)

社員の安全に対する備え

■ 海外拠点を含めた安全意識の啓蒙

新東グループにおける労働災害は、長年の安全活動の中で着実に低減してきました。その取り組みの大きな柱として、社員一人ひとりの安全作業意識を一層高めるべく、過去の災害事例の教訓を記した「作業安全心得・安全基準」を今般改訂しました。海外拠点を含め各社の実情にあわせて活用しています。



冊子「安全の心得」



(中国拠点：青島新東での安全決起大会)

■ 防災対策など

大規模地震に備え、社員全員が参加して行なう「実地訓練」に加え、上位者・防災担当者に対して「図上訓練」を、事業所・工場別に定期に実施しています。図上訓練は、実際の災害時に発生すると考えられるスピードに合わせ1～3分毎に想定問題が与えられ、机上でその対応策を養うトレーニングです。



(新東自衛消防隊ポンプ操法大会)



(防災図上訓練)

■ 自動体外式除細動器 (AED) を設置

現代の高負荷、ストレス社会では、突然の心停止の発生件数は交通事故死者数の3～4倍多いのが実情です。勤務中の突然の心停止が万が一にも発生したときに備え、救急車が到着するまでの救命処置が社員にもできるよう、今般 本社・営業拠点・豊川製作所をはじめとする4工場に、AEDを設置し実地訓練を実施しました。



(AED 設置風景)



(AED 実地訓練風景)



社会

■ 産学官とのかかわり

財団法人永井科学技術財団

素形材産業の発展と躍進のため、研究開発の一層の重要性に鑑み、学術研究に功績のあった愛知県下の研究者や学術研究団体への顕彰と研究助成金の贈呈を目的に、当社 元会長であった故 永井嘉吉氏が社会奉仕と還元で私財を投じ、生前の 1983 年に設立したものです。今年で第 24 回を迎え、第 1 回から通算し贈呈者数は 344 名となりました。



(永井科学技術財団賞 表彰楯)

インターンシップ

米国ノートルダム大学と当社は毎年相互に 2 名の留学生を派遣しています。同大学 MBA 学生のインターンシップ受け入れは本年度 16 回を数えます。



(ノートルダム大学 学生 研修風景)

大学との共同研究

豊橋技術科学大学と包括的な研究連携をして要素技術開発から商品開発まで幅広いテーマで共同研究を実施しています。昨年度から文部科学省の「高度人材育成プラン」に基づき大学院生の受け入れをはじめました。

■ 業界とのかかわり

国内事例 (ものづくり展への協賛と参加)

本年 1 月東京 国立科学博物館において、素形材産業が日本の製造業にとって重要なものであることへの理解を目的に開催された「ものづくり展」に出展しました。真空を利用して砂型をつくる環境にやさしい当社の造形技術「V プロセス」を用いた鋳物の作り方を楽しく体験していただきました。

経済産業省がコーディネーターとなった放談会では、素形材産業の現状と未来について活発な意見交換を行いました。



(ものづくり展 出展風景)

■ 地域住民とのかかわり

海外事例 (ドイツ)

子会社があるドイツ バード・ラスフェ市で 8 月下旬に開催される夏祭りに 1991 年より毎年参加しています。日本人スタッフが中心となり「日本屋台」を出展し、地域の皆様と密着したよりよい関係を構築しています。

また、同市へ 1994 年に寄贈した「日本庭園」は、今般植樹などで、より充実した庭園となり、地域住民の癒しの場として利用されています。



(バード・ラスフェ市 市長と日本庭園にて)



智恵を育む小さな感動

新東工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

TEL 052-582-9211 FAX 052-586-2279

発行／2007年6月

本誌は新東工業(株)ホームページ上にもPDF形式で掲載しています。

<http://www.sinto.co.jp/>